

旅行業者との契約に関する状況

- 平成28年の運賃・料金の収受状況は平成27年と比べて、「改善されている」が最も多く(47%)、その理由は、「契約先が新運賃料金制度に協力的」が最も多く(77%)になっている。

運賃・料金の収受状況

- 新運賃・料金制度実施後、届出の範囲内で「収受できている」と回答した事業者は、27%から85%に増加。一方、いまだ4%が「収受できていない」と回答している。
- 新運賃制度前に比べ、現在は収受した運賃を、ドライブレコーダー等の設備投資(6.5倍)や人件費の引上げ(5.9倍)等に充てている事業者が、大幅に増加している。

あっせん手数料の支払状況

- 旅行業者と手数料等に関する取引書面は、多くの事業者(83%)が取り交わしているが、一部(17%)取り交わしていない。

安全運行等に関する取組状況

- 旅行業者に対して、安全運行等の取組を説明している事業者は75%となっており、安全性評価認定の取得状況や車両の情報を説明している。